

寒河江川さぼう

国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所
寒河江川砂防出張所



出張所は西川にすぐそば

第93号 令和元年12月

寒河江川砂防出張所管内

工事状況のお知らせ



完成

**志津地すべり
姥ヶ嶽上部対策工事**

施工業者:(株)新東京ジオ・システム
工期:令和元年10月21日

志津地区の地すべり対策として、地すべりの要因である地下水を排除するための集水井の設置と既存の集水井の洗浄を行いました。



集水井



内部のようす

**12月中旬
完成**

**志津地すべり対策工
工事用道路工事**

施工業者:渋谷建設(株)
工期:令和元年12月10日

志津地区の地すべり対策の一環として、排水トンネルをつくるための工事用道路と橋梁をのせる橋台を設置しました。



着工前



橋台完成

一部完成

寒河江川流域東ノ沢ほか砂防堰堤改良工事

施工業者:国井建設(株) 工期:令和2年1月14日

寒河江川流域の東ノ沢砂防堰堤に流木止めを施工しました。また、桧原沢に強靱ワイヤーネットを取り付けました。現在は、水上沢砂防堰堤(西川町本道寺)の流木止めを施工しています。

強靱ワイヤーネットは、短期間で施工することができ、土石流に対する応急的な対策として災害現場でも活用されています。



桧原沢
強靱ワイヤーネット



着工前



流木止め完成

一部完成

寒河江川流域ほか砂防施設整備工事

施工業者:国井建設(株) 工期:令和2年3月13日

寒河江川流域のトノ沢砂防堰堤に流木止めを施工しました。また、四ツ谷川の斜面崩壊抑制対策として河川の切り廻しを行いました。現在は、根固めブロックの製作を行っています。



着工前



流木止め完成

とのさわ
トノ沢



流木止め(拡大)

堰堤に流木止めを設置し改良することにより、土石流が発生した際に流木が下流に流出するのを防ぐ機能の改善が見込まれます。

さぼう 砂防教室

おしえて！
かんぼう！



さぼう
砂防とは、土砂災害などの自然災害からかけがえのない人の命や暮らしを守るためにおこなわれるさまざまな工事や仕事のことです。

砂防教室では、土砂災害の危険性や日頃の備えなど、数回にわたって分かりやすく説明していきます。

② なぜ土砂災害って起こるの？

答え①: 雨が多いため

日本は世界の国々の中でもの中でも特に雨が長く、梅雨や台風などの時期には一度にたくさんの雨が降ります。長雨や集中豪雨などの時には特に土砂災害が起きやすくなります。



答え②: 雪が多いため

日本は豪雪地帯にも町があり人が住んでいるので、なだれや雪どけ水が原因で土砂災害の被害をうける人が多くなります。



答え③: 山地が多く、

もろくて崩れやすい地質の山が多いため

日本の国土は約7割が山と丘陵地(なだらかに高くなったり低くなったりしている丘の続く地形)でできています。その山も多くはもろくて崩れやすい土でできています。



答え④: 流れが急な川が多いため

日本は、ほかの国にくらべて山から海までの距離が短く、滝のようだとされるぐらい流れが急です。流れが早いと山や川底などの土が削られ、土砂災害が起きやすくなります。



答え⑤: 地震や火山が多いため

日本は地震がとても多く、火山の噴火もよく起こります。地震が原因で、がけ崩れや地すべりが起きています。また、崩れた土が川の水や雨水とまじって土石流が起きたりします。



答え⑥: 川の扇状地やがけ下のせまい平地にも人が住んでいるため

日本列島は山が多く平地が少ないので、川の扇状地や、がけ下のせまい平地などにもたくさんの人が住んでいます。



大都市のまわりでは、山の斜面を切り開いて住宅地をしているところなどもあるため、そこで被害が発生すると多くの方がまきこまれてしまいます。

参考資料: ※土砂災害防止広報センターホームページ、※砂防副読本「さぼう」ってなあに より

ポイント



土砂災害が起こりやすい自然条件の中で生活しているから、「一人ひとりが日頃から備えておくこと」が、とっても重要なんだよ！

12月1日～7日は 雪崩防災週間です

国土交通省と都道府県では、防災・減災の取組の一環として、本格的な雪のシーズンを前に、国民一人ひとりが雪崩災害の防止及び被害の軽減の重要性について認識し、理解が深められるよう、毎年12月1日から7日を「雪崩防災週間」として定め、様々な取組を実施しています。

これから本格的な冬を迎えます。危ないところには近づかない、また、前兆現象などにも注意しましょう。★雪崩の前兆現象については、寒河江川砂防出張所HPでもお知らせしています。



インフラツアー

「月山地区

志津地すべり対策

「トレッキング」の取り組みを
全国で発表しました！

令和元年度

「国土技術研究会」

11月7日(木)8日(金)

国土交通省中央合同庁舎(東京都霞ヶ関)において、令和元年度「国土技術研究会」が開催されました。

当出張所が東北代表として推薦され、インフラツアーの取り組みを全国で発表してきました。多くの方に「地すべり施設」と「西川町の自然・観光」を見て楽しんでいただけるよう、これからもがんばります！



本誌をご覧頂いた感想や砂防事業、国土交通省の事業へのご意見、ご質問等をお寄せください。

皆さんの声をお待ちしております



さがえがわさぼうしゅっちょうじょ
寒河江川砂防出張所

〒990-0702

西川町大字海味字下モ山916-2

TEL 0237-74-2366

FAX 0237-74-2801

http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou/



担当：北・佐藤

寒河江川さぼう



検索!!